

「農耕空間の多様性と弥生農耕の形成」

令和6年3月17日(日)

9:15～16:30

場所：登呂博物館1階 登呂交流ホール

主催：静岡大学登呂農耕文化研究所

共催：静岡市立登呂博物館

後援：静岡大学（人文社会科学部、人文社会科学部アジア研究センター、サステナビリティセンター）

定員：90名

料金：無料

申込：不要。直接会場へ（先着順）



登呂遺跡の水田と水路

【タイムスケジュール】 ※当日までに変更の可能性があります。詳細は博物館ホームページをご確認ください。

9:00 開館・開場 司会：山形大学学術研究院准教授／静岡大学客員准教授 白石 哲也 氏

9:15 趣旨説明：静岡大学人文社会科学部教授 篠原 和大 氏 「弥生農耕の多様性と境界のその後」

9:30 報告①：帝京大学文化財研究所 教授 中山 誠二 氏

「近畿地方における凸帯文期の穀物農耕の拡散」

10:00 報告②：大阪市文化財協会 大庭 重信 氏

「韓国青銅器時代の農耕技術の多様性と日本弥生時代農耕技術」

10:30 報告③：愛媛大学埋蔵文化財調査室 特任准教授 三吉 秀充 氏

「文京遺跡における縄文時代晩期～弥生時代前期の農耕空間」

11:00 報告④：徳島大学大学院総合科学研究部 教授 中村 豊 氏

「四国東南部における縄文晩期～弥生時代の農耕」

11:30 報告⑤：韓国地質環境研究所 所長 柳 春吉 (リュ・チュンギル) 氏 (日本語通訳付)

「ボーリング調査による水田調査の事例」

12:15 昼休憩

13:10 講演：高麗大学 助教授 李 僖珍 (イ・ヒジン) 氏 (日本語通訳付)

「ジオアーケオロジー的観点からみた韓半島青銅器時代の農耕について」

14:10 報告⑥：関西大学 非常勤講師 松田 順一郎 氏

「登呂実験田及び静岡平野弥生水田土壌の微細形態」

14:40 報告⑦：株式会社パレオ・ラボ 辻 康男 氏・奈良県橿原考古学研究所 岡田 憲一 氏

「秋津・中西遺跡の土壌分析」

15:10 休憩

15:20 パネルディスカッション：「農耕文化の分析と多様性」 (日本語通訳付)

パネラー：李 僖珍 (イ・ヒジン) 氏、中山 誠二 氏、大庭 重信 氏、三吉 秀充 氏、中村 豊 氏、松田 順一郎 氏、辻 康男 氏、岡田 憲一 氏、柳 春吉 (リュ・チュンギル) 氏

コーディネーター：静岡大学人文社会科学部教授 篠原 和大 氏